

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第161号

発行：令和2年6月1日



健康増進と地域住民のふれあいの場として活用が期待される金武タームパークゴルフ場（7月1日オープン予定）

主な内容

- 一般質問 2～15P
- 伊藝高志／伊藝菊博／外間慎仁／吉野 潤／伊藝直樹／大城一之／安富信武
- 松田義政／仲村広美／前田健次／崎浜秀幸／池原政文／仲間トム／伊芸政男
- 令和2年第2回(3月)定例会・第3回(4月)・第4回(5月)臨時会等 16～21P
- 町村議会議員・事務局職員研修 22P

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292 有線電話 8-2292
金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.okinawa.jp

きんてん(均霑)とは…「均しく霑う」という意味で、町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行第1号の際に命名しました



令和2年第2回(3月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝 高志 議員

福花川の管理

伊藝議員 福花川は正式には億首川だが、我々地元の中では福花川と呼んでいるため福花川と言わせて頂く。

福花川護岸道路の管理はどこか。

仲間一町長 町が管理している。

伊藝議員 危険性はないか。

町長 亀裂が進行すれば車両の通行等に危険を及ぼす恐れがあると認識している。

伊藝議員 改修工事の計画はあるか。

町長 護岸の崩落等により道路専用施設へ被害があった場合は県が対策を講じたこととなっている。現在県が調査を実施しており、引き続き護岸の改修について調整をしていく。



亀裂のある道路

伊藝議員 川に黒いホースが見受けられ、マングローブの一部も倒れているが、対応は。

町長 個人が農業用水管として設置したものが、マ

ングローブの倒木に影響を及ぼしているかは確認していない。

ホノルル市友好都市締結

伊藝議員 友好都市締結に至る経緯は。

町長 平成31年1月にホノルル市長に会い、沖縄移民120年の節目に合わせて友好都市協定締結要望の意向を伝え、ホノルル市と意見交換会等を重ね、今回締結に至った。

伊藝議員 どのような交流を考えているか。

町長 現行の人材育成交流事業の更なる充実に努め、積極的な文化交流を継続していくことが相互の架け橋となる人材を多く輩出し、発展に繋がると考えている。

伊藝議員 町の美化についてホノルル市から学ぶべきものはあるか。

町長 亜熱帯気候特有の植物を活用した植栽や清掃管

理が行き届いた街路など参考となる部分を積極的に町づくりに取り入れ、景観の向上に努めていく。

伊藝議員 交流についての課題は。

町長 人材育成事業や文化交流事業実施に伴う双方の負担等を含めた継続可能な事業計画の立案等が課題である。



友好都市協定締結式

旧国道329号(億首)桜並木

伊藝議員 どこが管理しているか。

町長 金武大橋が開通したことに伴い町道金武223号線として国から管理移管

されている。

伊藝議員 桜並木をどのように考えているか。

町長 町道の管理や雑草等の除草作業を行うとともに桜が町の花であることを踏まえ、町民が心から桜を楽しめる環境整備ができるよう総合的な観点から検討していく。



町道金武223号線の桜並木 (平成18年)

伊藝議員 景観と美化についてどのように取組んでいるのか。

町長 これまでも緑豊かな快適環境のある町づくりを推進するため、町民、各種団体、事業者等と協力をし、緑化活動に取組んでいく。



伊藝 菊博 議員

道路環境整備

伊藝議員 町道屋嘉10号線、13号線行き止まりについての進捗状況は。

仲間一町長 屋嘉区や地権者との調整を踏まえながら整備の必要性、効率化を検証し財源も含めて検討していく。

伊藝議員 30号線、32号線の行き止まりは。

町長 30号線は避難路としての機能が果たせるよう屋嘉区及び地権者と調整を進めて行く。32号線は道路を延長する要望があり、数年前に現場確認の上で地権者と調整をしたが地権者から同意を得られなかった。現在、物件が工作され、整備

が困難な状況である。

伊藝議員 27号線整備の進捗状況は。

町長 本道路は平成30年度に実施設計を完了している。工事は令和4年以降で計画している。

伊藝議員 27号線の道路に穴が空いており危険である。令和4年以降に計画とあるが2年後では生活に支障を来すと考えるが。

宝正徳 建設課長 計画の中では他の地域を含めた整備計画だが再度検討し、早急に現場を確認して補修していく。



陥没している屋嘉27号線

伊藝議員 42号線の転落防止策及び街灯の設置は。

町長 事前説明会を実施した時に地権者から転落防止柵の設置は行わないよう要望があったため、側線の引き直しを実施している。

街灯の設置は町の方針として住宅がある地域が対象となっており、該当箇所は住宅が無いため設置は検討していない。

伊藝議員 夜になると街灯も無く転落している車もあり非常に危険だが対策はできないか。

建設課長 路面に反射板を設置して転落防止できるよう対策をしていく。



水田の間にある屋嘉42号線



日が沈むと周囲が真っ暗になる屋嘉42号線

があるため、その許可をしている。

伊藝議員 人が歩けない状態だったが。

建設課長 設置した業者へ注意をし、指導していく。

伊藝議員 事故が起きた場合、だれが責任を持つのか。
建設課長 施行する側にある。

伊藝議員 60号線(国道329号)から国道88号線まで(の)街灯整備は。

町長 国道329号から約500メートル付近まで住宅があるため街灯の設置をしている。

また本道路は国道329号と県道88号線を接続する機能が主体であることから平成29年度から沖縄県に県道への格上げを要請している。

伊藝議員 歩道に建築資材等が置かれているが、役場は許可しているのか。

建設課長 建築する場合に足場を歩道に設置する必要



屋嘉60号線



外間 慎仁 議員

新型コロナウイルス感染症の対応

外間議員 臨時休校でひとり親家庭や共働き家庭についてどのような対応をしているか。

仲間一町長 中川幼稚園預かり保育、放課後児童健全育成事業、放課後等デイサービスにおいて受け入れを行っている。

外間議員 急遽休校になったことで予定していた給食分の材料等をどのように取り扱うのか。

町長 2月28日に3月分の発注をキャンセルしており休校に伴う材料の廃棄は発生していない。

外間議員 学校を再開して

いる市町村もあるが金武町は再開できる状況か。

比嘉貴一 教育長 休校中の対応について段取りを学校側でやっている。再開になると全部やり直さないといけないことが発生するため、現実の問題として学校を開けるといのはまず不可能である。

外間議員 感染防止のための不要不急な外出自粛による経済的なダメージが本町の商店街や社交業界にも影響を受けている可能性があるが、現状と今後の町の対応策は。

町長 宿泊業者や体験事業者からキャンセルによる「客数が減っている」、「売上げが下がっている」等の声がある。その中で約50%以上の減となっている事業者もある。飲食業ではおおむね「大きな影響はない」等の声がある。

※コロナウイルスに関しては3月11日時点のものです。

CSF(豚コレラ)の対応

外間議員 1月初旬にうるま市においてCSF(豚コレラ)が発生し、本町の養豚農家に多大な影響を与えたと考えるが、町はどのような対応、支援を行っているか。

町長 1月7日夕方に豚熱感染疑いが報道されたことから町内養豚農家へ情報提供を行い、防疫体制の徹底を確認した。

1月8日以降、町職員を動員し、町内養豚場付近の道路等に消毒剤や消石灰の散布を実施するとともに養豚農家との連絡体制網を構築し、相談対応や消石灰、消毒剤の無償配布を行い防疫体制の強化に必要な支援を実施している。

外間議員 ワクチン接種をすることのメリットとデメリットは。
糸村昌敏 農林水産課長 ワクチン接種することでウ

イルスに感染しても病気を発症しないというメリットがあるため、使用している農家も不安が解消されるというメリットがある。デメリットは消費者が豚肉を購入する際に安全性を懸念すること、国外への輸出が制限されるのではないかとということである。



消石灰散布

子育て支援の推進

外間議員 施政方針の中で虐待や貧困に関わる子どもへの支援を行う拠点として家庭総合支援拠点を立ち上げるとあるが、どのような取り組みか。

町長 町は「町子ども家庭

総合支援拠点」及び「子育て世代包括支援センター」を同時設置した。

「子ども家庭総合支援拠点」は、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を対象に訪問する乳児家庭全戸訪問事業や乳幼児健康未受診者、未就園児、不就学児等の全数把握を行い、気になる家庭の掘り起こしに努め、児童福祉サービスの情報提供、虐待の未然防止を図る。

「子育て世代包括支援センター」は、保健師資格を有する母子保健コーディネーターを非常勤で1名配置し、全ての妊産婦及び乳幼児の実情把握、妊娠・出産、育児に関する各種相談、必要に応じて支援プランの作成や地域の関係機関との連絡調整を行い、妊産婦及び乳幼児の健康増進を支援していく。

その他の質問事項

農林・畜産業の振興



吉野 潤 議員

農業振興

吉野議員

近代化農業の促進に伴い、各分野においてICT技術を取り入れた農業が盛んになると考え、これらを取り入れた栽培技術の促進を進めていく上で町としての今後の取組みは。

仲間一町長

これからの農業にはICT技術を活用した省力化、高品質化及び安定生産できる仕組みづくりが必要だと考えており、町の主要作物である田芋、マンゴー、キク等において水管理、農薬散布の軽労化等にICT技術が活用できないか今後も国・県からの情報、試験データ等を収集

し、町の農業に活用できるICT技術の推進に取組んでいく。

吉野議員

町は産地協議会、農業者連絡協議会と連携を取りながら、各部会の中で話を進める予定は。

糸村昌敏 農林水産課長

このICT技術の仕組みは設備導入、維持管理の費用がかかると考えており、町の農業者連絡協議会、産地協議会等と意見交換しながら経費等含めて、負担がないう形で取り入れることができるか、また農家と意見交換しながら進めようと考えている。

吉野議員

1月に豚熱(CSF)が発生したが、今後の対策として、もし仮にこの豚熱が町で最悪の状況が起こった場合のシミュレーションはしているのか。

農林水産課長

1月9日に金武町特定家畜伝染病防疫現地対策本部を設置し、その中で対応策のシミュレー

防災対策

ションをしている。

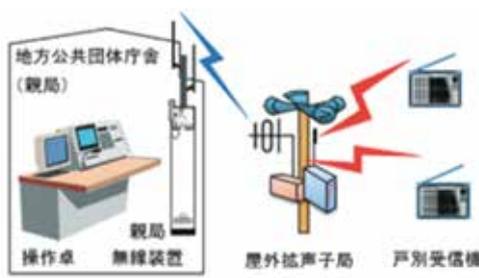
吉野議員

海抜の低い地域での自主防災会の立ち上げ、それに伴う防災機材等の補助事業等を行ってきたが、災害時における避難経路、避難路の点検、ハザードマップ等の見直し作業を

各区分と連携を取りながら住民の安全確保に取組まなければいけないが町の取組みは。

町は各区、各自主防災会と連携し、災害時における避難路の点検を実施し、防災マップについては利用者目線に立った見直しを行い、防災マップの活用、認知度の向上に取組む。

く、避難の遅れなどが懸念されることから迅速かつ的確な避難行動を取るため、災害及び避難情報を確実に伝達するシステムを構築し、町内全世帯及び公共施設等に戸別の受信機を配布し、警報等の伝達手段の多重化、多様化を図る。



防災行政無線の戸別受信機イメージ図

観光産業

吉野議員 トロピカーナ・ランド・デベロップメントとの協議の進展は。

町長 同社の町内事業者である株式会社沖縄金武リゾートの担当者とは打ち合わせを行い、マレーシア本社の担当者との建設に向けた協議を行えるよう調整している。同社のホテル建設に向けた準備が整い次第、着工時期や建設計画の説明等を受ける予定となっている。



トロピカーナ社が整備するホテルなどの予定地

吉野議員 温泉施設事業の進捗状況は。

町長 建築確認申請が2月に確認済証を受け、完了しており、工事発注に係る最終調整を行い、着工時期の公表を近く行えるよう取組んでいると確認している。



伊藝 直樹 議員

中川区

伊藝議員 平成28年12月定例会で中川区の農業用水施設整備は「平成31年度採択予定地区として位置づけられており、今後事業導入に向けて協議を行っていく」との答弁があったがその後の進捗状況は。

仲間一町長 町はこれまで中川区の要望を踏まえ、事業採択に向けて事業計画書を作成し、県へ事業要望をしているが、当該地区における農業用水の必要性や整備計画における費用対効果等に課題があり、事業採択まで至っていない状況となっている。

現在も事業採択に向けて

県と協議を継続して行っており、引き続き早期の事業採択に向けて取組んでいく。

伊藝議員 中川区は農業用水を整備して40年近くも経っており、その管が古くなって道路に埋設している管が水漏れを起こした場合に多額の修繕費となる。費用を中川区で負担しているが修繕に係る経費について町で考えてもらえないか。

糸村昌敏 農林水産課長 金武町農地・水環境保全管理協定運営委員会があるので予算を活用し対応してはどうかと相談、調整している。令和元年度にはポンプの取替えをその予算で実施した。

中川区の農業振興については、町も支援していく思いは強く持っているのですが長と連携しながらできる部分は支援していきたい。

伊藝議員 中川第4団地の申込み数、申込者の中川区

以外の内訳は。

町長 34世帯で総数119名の申込みがあった。

内訳は中川区12世帯45名、中川区以外22世帯74名の申込みとなっている。

伊藝議員 入居で中川区の人口はどれくらい増えたか。

町長 中川区以外から9世帯37名の増加となっている。

伊藝議員 入居者決定にあたりどのようなことを重点的に審査したのか。

儀間権住民生活課長 地域活性化、定住人口の増加を目的に若年層や子育て世帯に特化した団地ということで子どもが多い世帯や子育て世代と言われている30代から40代に重点を置いて審査してこの結果になっている。



中川第4団地

農業振興

伊藝議員 田芋、水稻栽培にあたり排水不良で作物が育たないため耕作をあきらめざるを得ない農家がいる現状だが相談はあるか。

町長 福花原、武田原、頭呂地原（スルジバル）地域において湧水等による排水不良でトラクターで耕うんできない等の相談があった。

伊藝議員 どのように対応するのか。

町長 隣接する農家同士が連携して素掘り排水路を作り、水処理をすることで改善した事例等がある。

伊藝議員 素掘りだと1年は効果を発揮するが、2年目、3年目には土砂が入り込んでまた水はけが悪くなるが。

農林水産課長 農業委員や農業士の指導を仰ぎながら排水方法等改善に向けて取組んでいく。

伊藝議員 特定外来生物のツルヒヨドリに関し、町へ問合せがあったか。

農林水産課長 農家から確認してほしいとの相談があり、現場を確認し、県に照会したところツルヒヨドリとのことで、その駆除方法を農家に伝えて駆除してもらった。他の場所にも生えている可能性があるため広報金武2月号に掲載した。



広報金武2月号に掲載したツルヒヨドリの情報



大城 一之 議員

新型コロナウイルス感染症

大城議員 沖縄県での新型コロナウイルスの感染状況は。

仲間一町長 県内感染者が2月14日に初めて確認され、現在(3月12日)までに合計3名の罹患者となっており、その内1名は感染経路が特定されていない。1例目と3例目の患者は軽快し退院しており、2例目の患者は重症患者となっていたが現在は軽快し感染症病棟へと移っている。

大城議員 金武町内の医療機関の対応は。

町長 通常のインフルエンザ流行期の対応に準じて外

来で適切な場所を確保し、他の患者との距離を保つよう工夫するなど標準予防策の徹底を呼びかけている。

知念久学校教育課長 2月27日、総理大臣から休校の発言があった翌日に校長会を行った。その中で臨時休校、卒業式等の確認をした後、町の対策会議で休校や行事の持ち方の報告し、実施している。

大城議員 校長会の中に教育委員は参加していないか。

学校教育課長 休校が始まる3月2日に教委委員会議で報告をした。

大城議員 どのような意見が出たのか。

学校教育課長 幼稚園やこども園、学童を開けると効果薄いのではないかと

大城議員 中学校の卒業式が中央公民館で行われたが換気は大丈夫だったのか。

仲間功社会教育課長 教育委員会すべての窓を開け、扇風機も回していたため公民館建物内での換気はできていると判断した。



中央公民館で行われた卒業式 (3月6日)

※コロナウイルスに関しては3月12日時点のものです。

会計年度任用職員

大城議員 会計年度任用職員制度と現行の非常勤職員の違いは。

町長 会計年度任用職員は同一労働同一賃金の観点から通勤手当や期末手当、昇給の対象となり処遇の改善も図られる。休暇制度は国の非常勤職員に準じて定めることから結婚休暇、夏季休暇、旧盆休暇等の福利厚生面でも充実が図られる。

大城議員 令和2年度の会計年度任用職員と予算は。

町長 224名のパートタイム会計年度任用職員を任用する予定となっている。会計年度任用職員制度の導入に伴い、現在の非常勤職員の給与等に対して約4000万円の増額になる。

大城議員 フルタイムにしない理由は。

安富祖昇 総務課長 現在嘱託職員の業務時間は37時間45分で勤務をしているため、それを基に業務内容を精査した結果、パートタイム会計年度任用職員として予定をしている。

ツルヒヨドリの繁殖

大城議員 ツルヒヨドリの町の対策は。

町長 農作物への影響を考慮し、駆除や防除等については役場に問合せをいただく旨の内容を広報金武2月号で農家向けに周知した。

大城議員 駆除の方法は。

儀間権住民生活課長 11月頃に種を付ける前に駆除する方法が適当であると考えているため農林水産課と連携をし、広報で周知して行く。



ツルヒヨドリ



安富 信武 議員

令和2年度施政方針

安富議員 當山記念館の国

登録有形文化財への新規登録を推進するとあるが、建物の面積は。

比嘉貴一 教育長 床面積

は96・45平方メートルである。

安富議員 倉庫の有無は。

教育長 當山記念館に倉庫はない。

安富議員 周辺整備は。

教育長 平成28年度のリニューアル後に散策道など建物周辺の整備が行われている。

安富議員 蔵書数等は。

教育長 館内には當山久三の業績や沖縄海外移民の歴史を学べるよう移民関係資料

料が約60点、写真、年表等のパネル約20点が展示されており図書は置いていない。

安富議員 當山記念館の所有者、土地の所有者は。

仲間功社会教育課長 當

山記念館は町が管理している。土地は並里区有地になっている。



當山記念館内の展示物

安富議員 ホノルル市と友

好都市締結したことで金武町は何を取り入れていけるのか。

金城司企画課長 カポレ

イミドルスクールとの交流がストップしているが、そ

の事業の復活や金武町人会を通してホノルル市との絆も太くできたらと考えている。その後いろいろな法人の交流など経済的なものも今後生まれてくると期待している。

安富議員 この締結式の模様を説明してほしいが。

企画課長 広報金武3月号

に速報を掲載し、4月号には詳しい記事を掲載する予定である。

今後は金武町まつりや国際交流関係の式典等を活用

してその時の状況、雰囲気、実際に締結している場面を動画で流して周知を図っていく予定である。

安富議員 観光基盤強化計画の具体的内容は。

仲間一町長 ギンバル訓練

場跡地における未利用地等の活用及び既存施設との連携強化、拠点施設から町

全域への波及効果を図るため調査計画を行うものである。

調査計画項目は返還跡地

利用の未利用地の活用計画、拠点施設の機能強化計画、拠点施設の連携強化計画、町内周遊システム構築

計画、地域資源活用プログラム強化計画となっている。

安富議員 トロピカーナ・

デベロップメント社にホテル開発を急がせるアプローチを強化してほしいが。

安富祖勲 商工観光課長

ホテル開発には海岸整備が条件であった。海岸整備、海浜公園含めて全面供用開始が令和4年度と見えてきたので企業側に条件は整っているのを進めてもらうというのを強く求めている。

安富議員 こちらの条件は

整ったからやってくださいではなく、具体的に着工はいつから、操業はいつからと確約を取ってきてほしい。

ホテル自体もヒルトンが

来るといふ話も新聞等々でにぎわせたが、トロピカーナ社ともう一度交渉を重ねてほしいが。

商工観光課長 平成31年2

月に町長とトロピカーナ社のトップでしっかり進めていくと確認しているが、議員の指摘のとおりいつ着工するのかできるだけ早く示してもらって早目に取れるようにトロピカーナ社との調整を図っていき



トロピカーナ社のホテル予定地 (ギンバル訓練場跡)



一般質問が2日間に渡ったためQRコードが2つあります。



松田 義政 議員

新型コロナウイルス

松田議員 小中高生等以外の幼児や高齢者への対応は。

仲間一町長

幼児に対しては子育て応援サイトやこども園等を通じて新型コロナウィルス感染症への注意喚起を図ってきた。

高齢者へは町内各高齢者福祉施設を通じた注意喚起や生きがいデイサービス、チャーガンじゅう教室、ミニデイサービス利用者を通じて情報提供を行い、包括支援センターからの情報提供を通じて感染症予防の徹底を図ってきた。

松田議員 一般町民に対する特別な対策は考えている

か。

町長 新型コロナウイルス感染症発生により町の行事等の中止や臨時休校による児童生徒の自宅待機等、日常生活への影響が出てきている。町においても対策等を随時検討していく。

松田議員

演習や紛争先と関りを持つキャンプ・ハンセン基地兵士との関りはどう対処するのか。

町長

沖縄防衛局によると在韓米軍基地から2月28、29日に帰還した海兵隊員の対応として韓国出国前に関連する症状が発生していないか嚴重なメディカルチェックを行い、沖縄に着後も医療関係者によって再度スクリーニングが行われているとのことである。その一連のメディカルチェックの結果については全員いかなる症状も認められなかった旨の報告を受けている。今後も新型コロナウイルスの件に関しては沖

縄防衛局との連携、連絡を密にしていく。

※コロナウイルスに関しては3月12日時点のものです。

基本計画策定

松田議員 金武町基本計画の策定を予定しているが、

法改正後の町の考えは。

町長

平成28年度を初年度とする第5次金武町総合計画基本構想のうち平成28年度、令和2年度までの前期基本計画の総点検や分析を実施するとともに広く町民の意見等を取り入れ、令和3年度、7年度の5年間の目標を定めるため後期基本計画を策定していく。

町財政

松田議員

役場庁舎を複合施設と連携させ新築するほか、屋内運動場、体育館建設など大型事業が目白押しで相当の費用負担が見込まれ既設の公の施設等のランニングコストの増加も予測され、財政の慎重対応が求められるが町の考えは。

町長

今後の社会情勢に合わせた町民ニーズへの対応や金武中学校体育館や多目的屋内運動場、複合庁舎等の施設整備等に対応するため既存の事務事業の見直し、公共施設の施設使用料の見直し等、財政検討委員会等において継続的に審議し、総合的な対策のもと各基金の積み増しを行い、ゆとりを持った財政運営ができるよう慎重に対応する。

松田議員

沖縄県41市町村で本町は約10年間財政力指数が27、28位である。基地関係の収入があれば収支バランスは取れるのが普通だと考えるがなぜ下位の方に落ち込んでいるのか。

金城司企画課長

町は基地関係の収入が約33億ある。そのため他市町村にはない様々なサービスも実施しており基地関連収入の一部を一般財源化して支出している。

事業名	特定財源	一般財源	計 (単位:千円)
金武町複合庁舎(仮称)整備事業(基本設計)	調整中		50,530
多目的屋内運動場整備事業	1,805,379	6,720	1,812,099
金武中学校屋内運動場建設工事	548,565	52,159	600,724
嘉芸小学校屋内運動場建設工事	342,699	25,434	368,133

令和2年度～4年度 事業実施計画から抜粋



仲村 広美 議員

新型コロナウイルス対策

仲村議員 町は新型コロナウイルス

ウィルス感染者が県内で発見されてからどのような対策を講じてきたか。

仲間一 町長 2月14日、

県内で初の感染者が発生。同日第1報として町ホームページ、LINE、フェイスブックで注意喚起を実施した。17日には三役会議において対策本部設置について議論し、18日には金武町新型コロナウイルス等対策本部設置条例に基づき対策本部を設置し、第1回対策本部で現状確認をし、町ホームページ、LINE、フェイスブック、有線放送で情報周知の徹底を図った。

た。

仲村議員

今後新たなウイルス感染症が起り得ると考えるがどのような対策を講じていくか。

町長

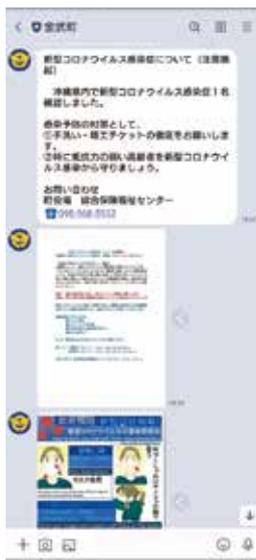
新たな感染症が発生した場合でも、平成26年度に作成した金武町新型コロナウイルス等対策行動計画に基づき国、県の方針とも協調しながら感染症への対策を実施していく。

仲村議員

ネット関係に弱い方もいるので町民全体に紙媒体で知らせてほしいか。

島袋博 保健福祉課長

紙媒体については2月21日の時点で急遽広報金武3月号の内容を差し替えて新型コロナウイルスの情報が掲載した。



2月14日のLINE



広報金武3月号新型コロナウイルス情報

仲村議員

ネットだけの情報だと随時更新されるため過去の資料を探すのに時間がかかるが紙媒体だと保管しやすく、すぐに探せるため今後は考えてほしいが。

町長

2000名余りが加入する有線放送電話、4000名余りが登録するLINEに頼ってしまったというのが今回の反省材料と考えている。見落としがあつてはならないため再度見直しをしていく。

働き方改革

仲村議員

労働環境を大きく見直す働き方改革が進む中でたくさんの職員を抱える町役場の役割は重要だと考えるが、町の考えは。

町長

町の役割は同一労働同一賃金や女性活躍推進等に先進的な取組をしていくべきだと考えている。

仲村議員

令和2年度の臨時職員、嘱託職員、会計年度任用職員、委託職員の採用人数は。

町長

職員の産休・育休の代替として臨時的任用職員を5名、パートタイム会計年度任用職員224名、個人と業務委託を結ぶ方を15名の合計244名を予定している。

仲村議員

嘱託職員、委託職員は職務内容によって会計年度任用職員へ移行する人もいるとの説明であったが、どのような職務内容が会計年度任用職員になるのか。

か。

町長

主に嘱託職員、賃金職員を移行する対象としていたが、現在個人と業務委託を結んでいる業種があり、業務内容を精査した結果、主管課長等の指示の下に業務を行っている職については会計年度任用職員として任用することとした。

仲村議員

人手不足が叫ばれている中、役場も厳しい状況に置かれるのではと危惧している。今後はどのような対応策を講じていくか。

町長

昨今の人手不足の中、金武町役場も例外ではなく職員募集への応募人数が減少している状況である。

人員確保への対応策としては働き方改革を進め、行政サービスの水準を維持しつつ、業務の効率化を図るとともに適正な人員配置の見直しに計画的に取り組んでいく。



前田 健次 議員

施政方針

前田議員 家庭総合支援拠点の立ち上げスケジュールは。

仲間一町長 県内では同規模町村での設置例がないことから那覇市等設置済み自治体から運営の在り方等の情報収集や町、県、関係団体の行う児童福祉サービス等の情報集約をした。パンフレット作成等の準備期間を経て5月のGW明けを予定している。

前田議員 子育て支援包括センターの設置スケジュールは。

町長 現在の業務の機能充実と強化であることから4月1日の業務開始に向け準備を進めている。

前田議員 ルーツ探し等をしてほしいという移民子弟とう向き合うか。また、次の世界のウチナンチュ大会までの町の取組は。

町長 ルーツ探しについてはこれまでも数件の問合せがあり、町が築いてきた海外とのネットワークや町内関係者訪問等を行い対応してきた。また必要に応じて沖縄県立図書館で実施されるルーツ調査も活用している。

前田議員 防犯対策、住環境整備の一環として計画している屋嘉海岸背後地整備の取組み状況は。

町長 屋嘉区と当該地の課題解決に取組みながら碎石等による簡易的な園路の整備や草木の伐採などを実施していく。

前田議員 屋嘉海岸背後地整備は平成28年12月定例会と平成30年度予算特別委員会で質問をしてから3、4年経っているが具体的な取組は。

宝正徳 建設課長

ある程度調査も必要であるため予算が確保できた時点で屋嘉区と一緒に地権者と話し合いをしていく。



草木が生い茂って通れない屋嘉海岸背後地

前田議員 屋嘉区、伊芸区、中川区において住民票等の交付サービスの試験的運用の時期は。

町長 住民票等の発行に要する住民負担の軽減による住民サービスの向上については早急な対応が必要であると考える、各区長の理解と協力の下、町では現在遠隔地の方に高齢者や障がい者

豚熱対策

等、交通弱者の方々が役場まで足を運ぶことなく区事務所で住民票等の申請・交付のできるサービスを令和2年4月から試験導入として実施していく。

前田議員 町の養豚農家は何戸で飼育頭数は。

町長 令和元年12月時点で養豚農家10戸、飼育頭数は7929頭である。

前田議員 ウイルス侵入を想定した事前訓練は実施してきたか。

町長 金武町特定家畜伝染病防疫現地対策本部設置要綱を制定し、町で発生した際の対応について各課の役割分担等を定め、確認している。

前田議員 養豚場で感染が判明した場合、町での報告体制は。

町長 養豚場において様子がおかしい豚を確認した場合、家畜伝染病予防法に基づき所轄の家畜保健衛生所

への通報が義務づけられている。通報に基づき、北部家畜保健衛生所による豚舎内への立入検査が実施され、陽性反応が出た際は北部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱に基づき、県より町へ陽性反応の通知と現地対策本部設置指示がなされている。

前田議員 埋却候補地の選定確認は。

町長 事前候補地として町有地を2か所選定しており、有事の際には2カ所の中から沖縄県が選定する。



養豚場周辺の消毒作業



議員 崎浜 秀幸

水質検査(PFOS)とその対策

崎浜議員 調査を行った業者はどこか。

仲間一町長 一般財団法人沖縄県環境科学センターへ業務委託し、PFOSを含めた河川等の水質調査を実施した。

崎浜議員 調査の日はいつ行ったか。何カ所調査を行ったか。

町長 主な河川等の8カ所を令和元年10月2日と3日に調査を実施した。

崎浜議員 PFOSは検出されたか。

町長 調査結果として金武地区公園西側奥のキャンブ・ハンセンフェンス沿い

から海まで続く排水路1カ所からPFOSが検出されている。

崎浜議員 P O F S の 数 値 は。

儀間権住民生活課長 排水路3地点でのPFOS、PFOAの合数値は94ナノグラム、51ナノグラム、71ナノグラムである。

崎浜議員 基準と今回検出された数字を比較した場合、町としての判断はこれが危険なものなのか。

住民生活課長 日本が公表した暫定基準では合計値50ナノグラムというのがあって、全て基準値を超えているので危険だと考えるが、検出された場所はなかなか人が入り込めない場所になっ

ていて、そのためまだ直接的な被害にはならないと認識している。

崎浜議員 今後の対策は。

町長 今後も継続的な調査が必要だと考えており、沖縄県と情報共有を密にし、

状況把握するとともに原因究明に努めていく。

新型コロナウイルス感染症防止対策

崎浜議員 高齢者や持病のある人への対応は。

町長 高齢者等へは町内各高齢者福祉施設を通じた注意喚起や生きがいデイサービス、チャーターがんじゅう教室、ミニデイサービス利用者を通じて情報提供を行い、個人でできる対策の徹底をお願いしている。

崎浜議員 親が仕事で子どもは家で留守番しているが、お昼ご飯等行政ができる分は行う必要はないか。

比嘉貴一 教育長 お昼のご飯等の対応はしていないが他の市町村と金武町が異なっているのは、町は放課後の子どもたちの中で保育に欠ける家庭のお子さんを行政として放課後児童健全育成事業として新型コロナウイルスの問題が起きる前から対

応している。

崎浜議員 1人の感染者も出さないという姿勢で町の注意は。

町長 特効薬がないため感染しない、させないというのが行政に課せられた大きな仕事だろうと考えている。引き続き対策本部でいろんな情報収集しながら対策していく。

トロピカーナ社によるホテル建設の見通し

崎浜議員 本来なら企業側は早めに造りたいはずなのにそれが全く見えないのはやる気がないという疑問も出てくるのだが町はどう理解しているのか。

安富祖歓 商工観光課長 昨年2月マレーシアで町長がトロピカーナ社の社長に対し早めに建設を進めてほしいと話した。社長から話があった。意思確認というのは現時点でもしっかりと

進めるという前提である。

崎浜議員 海岸整備事業の完成予定は令和4年だが海岸整備が整うまでにホテル建設を済ますことで良いか。

商工観光課長 海岸整備完了に合わせたホテル建設を進めたいとのことである。

崎浜議員 町はもっと強い要請をしても良いと考える。トロピカーナ社が非常に有利な形の契約をしている。それが一向に進まないというのが非常に疑問だ

町長 設計から7年経過、一部設計変更せざるを得ないと伺った。一日も早く着工してもらいたいと要請していきたい。



金武町広報を伝える計画ホテル
平成24年特別号外



池原 正文 議員

安心して暮らせるまち
づくり

池原議員

昨年12月5日に伊芸区の民間地において米軍の訓練による60ミリ迫撃砲照明弾3発が落下する事故が発生した。事故原因の究明と再発防止策及び住宅地付近での訓練、演習の恒久的中止要請の回答は。

仲間一 町長

昨年12月5日に本事を確認し、翌6日に在日米海兵隊キャンプ・ハンセン基地司令官へ要請を行ったところ、謝罪の言葉を受けている。

その後、9日には伊芸区とともに沖縄防衛局長に対して住宅地付近における訓練の中止等の要請を行って

いる。

沖縄防衛局からは照明弾が米軍提供施設外へ着弾したことは強風への影響を十分に考慮されてなかったことが原因と回答があった。



民間地に落下した照明弾

池原議員

地域住民から住宅地に近接するレンジ4施設周辺から射撃訓練の発射音が聞こえるとのことだが、事実関係は。

町長

沖縄防衛局からの演習通報はレンジ4で行われる訓練の内容は一般演習として報告を受けており、実弾射撃訓練は実施されていないと報告を受けている。射撃訓練の発射音等については現在、沖縄防衛局へ確認中である。

海浜公園等の活用

池原議員 活用を考えている伊芸区との協議は。

町長

伊芸区から有効的な利活用について要望があり、公園内や隣接地をバークュー場として活用できないか検討してきたが近隣民家への騒音問題や地域住民とのトラブル等が懸念されるため、実現は厳しいと

考えいるが伊芸海浜公園の指定管理について伊芸区長と協議したところ、今回の指定管理期間中にこの地域資源を活かした利活用や指定管理についても検討していく旨の理解を得られているため、今後はギンバル海浜公園の管理運営等も参考にしながら引き続き伊芸区と協議し、町として必要性に応じて対応していく。

池原議員

台風により海岸線の遊歩道に堆積した砂の除去は。

町長

遊歩道を含めた海岸

は沖縄県の管理となっており、県に対して堆積した砂の除去について令和元年12月上旬に要請している。

池原議員 この遊歩道は犬も通らないぐらい砂が堆積してそこから草が生えて通れない状況である。県には強く要請してほしいが。

町長

県と話合いの中で、町で何とかできないかと言えれば対応する議論も出ている。県と連携がうまく取れるようなら町でできるところはやっていく。

池原議員 どの所有か。

町長

伊芸区の単独予算により建築された施設であることから、伊芸区の所有となっている。

池原議員

町で改築工事は可能か。

町長

伊芸地区簡易水道施設は金武町水道施設設置及び管理条例により、指定管理は金武町伊芸713番地の浄水場のみであるため配水タンクの改築工事等は伊芸区で行われることが適切だが予算措置を含め今後は伊芸区と協議していく。

簡易水道施設

池原議員 建築後の経過年数は。

町長

昭和49年に建築され46年が経過しており劣化による補修が必要と考えている。

池原議員 どの所有か。

町長

伊芸区の単独予算により建築された施設であることから、伊芸区の所有となっている。

池原議員

町で改築工事は可能か。

町長

伊芸地区簡易水道施設は金武町水道施設設置及び管理条例により、指定管理は金武町伊芸713番地の浄水場のみであるため配水タンクの改築工事等は伊芸区で行われることが適切だが予算措置を含め今後は伊芸区と協議していく。

その他の質問事項

温泉宿泊施設の整備促進



仲間 トム 議員

高齢者の交通事故防止

仲間議員 65歳以上が所有する自動車に急発進防止装置を取付ける費用の何割を補助するのか。

仲間一町長 1台当たり最大4万円を限度とする補助を自動車整備事業者に対して交付する。

仲間議員 補助は対象者全ての自動車なのか。

町長 令和2年度当初予算において平成30年度の高齢者による交通事故件数を踏まえ、30台分を計上している。

仲間議員 令和2年度は30台だが先着順になるのか。

安富祖昇 総務課長 先着順で考えている。

仲間議員 世帯によっては対象車両が複数台あるが、複数台有する者への町の考えは。

町長 取付けは1名につき1台までの予定である。

仲間議員 自動車整備業者は町内のみか。

総務課長 町内で考えている。

仲間議員 何社が対象か。
総務課長 取付けが可能な業者は3社である。

仲間議員 車種によっては本社に持っていく場合もあるのか。

町長 車によってはディーラーによる作業が必要な場合もあるため、その場合町の修理工場を中間において申請してもらうと考えている。



急発進防止装置

ブルー・ビーチ訓練

仲間議員 ブルー・ビーチ訓練場の管理者は沖縄防衛局か、キャンプ・ハンセン司令官なのか。

町長 管理者は在沖米海兵隊となっている。

仲間議員 ブルー・ビーチ西側砂浜と陸地の境目から陸地に向けて赤土が目測で幅約10メートル、長さ40メートル、高い所で1・2メートルえぐれた状態で赤土がむき出しになっているが町の考えは。

町長 原因としては、ホバークラフトや水陸両用車等による上陸訓練などが考えられるためそのまま放置することにより海への赤土流出が懸念されている。環境の配慮も含め町全体の財産を適切に維持するためにも沖縄防衛局や関係機関へ原状回復を要請していく。

仲間議員 回復した場合に

は鉄板等の固い物で地面固めた方が良いが、そういう対策も要望してもらいたい。

金城司企画課長 原因を突き止めて原状回復をした後にはその現状が変化することないような対策をお願いしていく。

モーシヌ森ゲートボール場駐車場

仲間議員 モーシヌ森公園駐車場整備の位置図を見ると休憩所背後になるが、その施工方法は。

町長 東屋のある箇所から既設駐車場まで擁壁を設置し、既設駐車場の高さに合わせて整備する予定となっている。

仲間議員 工事着工はいつ頃か。工事期間中でもコートの使用はできるのか。

町長 令和3年度以降としており、当ゲートボール場の使用に支障をきたさぬよう最大限努めていく。

仲間議員 当初は平成30年で実施設計できたと思うがなぜ時間がかかったのか。

宝正徳建設課長 土地の所有者と用地購入で厳しい状況であったが今回所有者が変わり整備してほしいとの返事があったため令和2年度に実施設計費として予算を組んだ。

仲間議員 駐車場には何台停められるのか。
建設課長 20台前後で予定している。



駐車可能台数が少ないモーシヌ森公園の駐車場



生活環境の整備



伊芸 政男 議員

伊芸議員 屋嘉前田川河口付近から南側へ約300メートルの間、海岸沿いのアダン等が繁茂して環境を損ねているため対策を講じる必要があると考えるが。

仲間一 町長 屋嘉前田

川河口付近から南側の護岸を含む海岸は沖縄県の管理となっており、アダンの木が生い茂っている状況も確認し、管理者である沖縄県に伐採等の要請をしているが、当該箇所は町民が遊歩道として活用していることから今回は町として応急的な対応が必要と判断し、沖縄県の許可を得て町が今月中に伐採する予定となつて



歩道までアダンの木が生い茂っている護岸

いる。
伊芸議員 そこには「ハブに注意」の立札があり、実際に遭遇した方も何名かいるためその対策もお願いしたい。(答弁求めず)

交通安全対策

伊芸議員 屋嘉地区公民館

周辺道路ほか、部落内の一時停止線のマーキングが消えかけている箇所があり危険な状況になっているため対策してほしいが。

町長 停止線等が薄くなつて

いる箇所を確認しており、当該箇所の停止線等の整備を令和2年度に予定している。

他の区についても令和2年度に各区ヒアリングを実施し、情報の収集を行い町全体の整備計画に基づいて早急な停止線等の整備を行っていく。



消えかけた停止線

令和2年度施政方針

伊芸議員 障がい者福祉の

充実について18歳未満の障がい児が安心して自立に向けた訓練ができる環境整備や保護者の費用負担の軽減に努める。また障がい者福祉サービスの提供については障がい者が自立できる就業支援等の相談体制の充実を図っていくと示しているが自立に向けた訓練ができる環境整備と就業支援等の相談体制について具体的にどう取組んでいく考えか。

町長 18歳未満の障がい児

の自立に向けた相談体制は相談員1名を配置しており、障がい児と直接面談や保護者及び関係者から聞き取りを行い、障がい児の自立に向けた放課後等デイサービス・児童発達支援等の障がい児通所支援サービスへとつなげている。障がい者の自立に向けた就業支援の相談体制につい

ては町内の相談支援事業と委託契約を結び、委託相談員2名を配置しており、障がい者と直接面談を行い、医療機関その他の関係者から聞き取りなど協議を重ね障がい福祉サービス及び町内外の就業支援事業所へとつなげ、障がい者の自立へ向けた取組みを行っている。

伊芸議員 認定こども園で

障がい児に応じた訓練を受けることができるのか。

島袋博 保健福祉課長 保

育所等訪問支援事業などで活用できる。

伊芸議員 訪問支援事業は

子ども園の中でやるのか。

保健福祉課長 子ども園の中でやる事業は常駐しているわけではなく事あるごとに赴いてアドバイスをしている。

その他にも巡回訪問支援事業という県の事業もある。

令和2年 第2回(3月)定例会

令和2年第2回定例会が3月2日(月)に招集され、19日(木)までの18日間の会期で開催された。一般質問は14名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正などの議案が上程され審議を行った。

また、令和2年度の各会計の予算については、議長を除く議員15名で構成する予算審査特別委員会において審議を行った。議決結果は、下記のとおり。

令和2年 第2回(3月)定例会 議決結果一覧

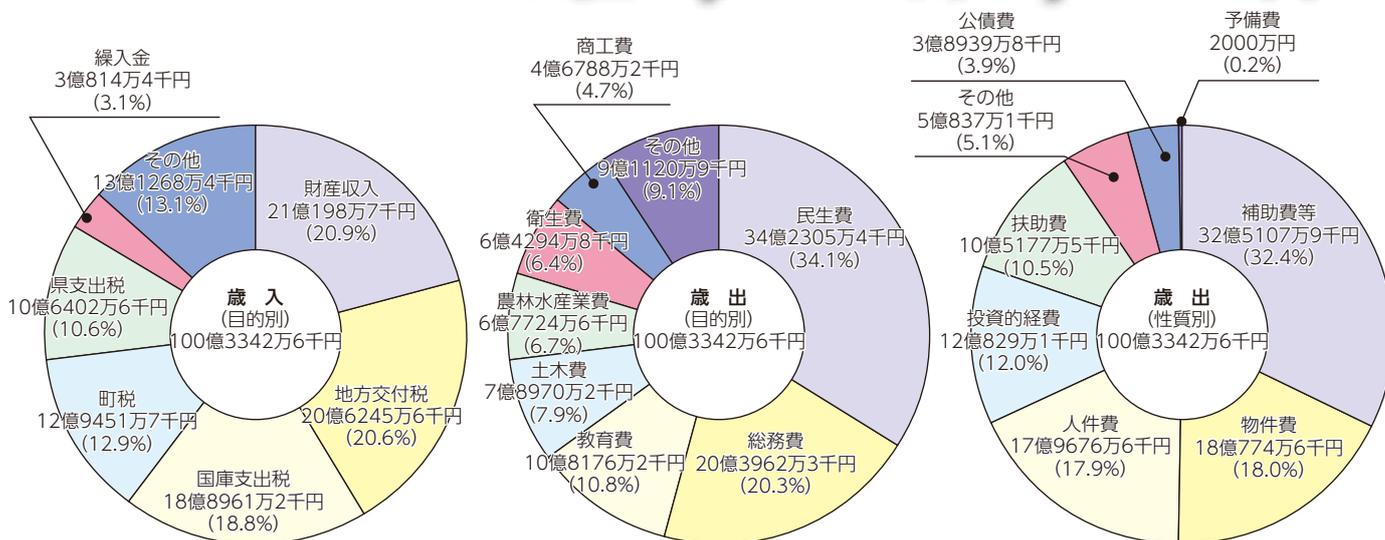
件名	議決結果
令和2年度金武町一般会計予算 歳入歳出それぞれ100億3,342万6,000円 ※内訳は18ページ	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 総務費、民生費、教育費等に充てるため財政調整基金から一般会計へ1億5,002万9,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和2年度金武町国民健康保険事業特別会計予算 歳入歳出それぞれ17億7,750万9,000円	原案可決 (全会一致)
令和2年度金武町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出それぞれ1億6,442万円	原案可決 (全会一致)
令和2年度金武町有線放送電話事業特別会計予算 歳入歳出それぞれ2,388万3,000円	原案可決 (全会一致)
金武町有線放送電話事業財政調整基金の処分について 有線電話事業財政調整基金から有線放送電話事業特別会計へ145万5,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和2年度金武町下水道事業特別会計予算 歳入歳出それぞれ1億1,605万4,000円	原案可決 (全会一致)
令和2年度金武町水道事業会計予算 水道事業収益5億2,259万4,000円、水道事業費用5億1,140万7,000円	原案可決 (全会一致)
金武町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例について 高齢者の福祉の増進に寄与することを目的に令和2年度から祝金を次のとおり増額するため、金武町敬老祝金支給条例の一部を改正するもの。 満75歳以上80歳未満 改正前 6,000円 → 改正後 11,000円 満80歳以上 改正前 11,000円 → 改正後 16,000円	原案可決 (全会一致)
金武町高齢者祝金支給条例の制定について 高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献してきた功績に感謝し、併せて敬老思想の高揚を図るため高齢者に対し祝金を支給するため条例を制定するもの。 米寿 20,000円 カジマヤー 30,000円 新100歳 30,000円 101歳以上 30,000円	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 地方公務員法及び地方自治法の改正により会計年度任用職員制度の導入に伴い、関係する条例の条文整備を行う必要があることから制定するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町任期付町費負担教職員の任用、給与等に関する条例の制定について 地方公務員法の改正により町内小中学校の学級人数を35人以下とするため町独自で配置している臨時的な教員の任用制度に変更が生じたため、制定するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 現在在籍している非常勤職員が令和2年度も引き続き会計年度任用職員として採用する場合に、現行の給料額を維持する経過措置を定める必要があることから改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町公の施設の指定管理者の指定について(伊芸海浜公園) 指定管理者:伊芸区 指定期間:令和2年4月1日~令和8年3月31日	原案可決 (全会一致)
令和元年度金武町一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ5,667万1,000円を増額し、総額106億5,378万7,000円とするもの。補正の主なものは歳入で再編交付金1億2,296万1,000円の増、財政調整基金繰入金3,293万円の減。歳出で児童福祉施設費5,405万3,000円の減、道路新設改良費4,520万円の増である。	原案可決 (全会一致)
令和元年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ284万7,000円を増額し、総額18億3,962万6,000円とするもの。補正の主なものは歳入で保険給付費等交付金433万7,000円の減。歳出で一般被保険者療養給付費300万円の増である。	原案可決 (全会一致)
令和元年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ128万7,000円を増額し、総額1億6,361万2,000円とするもの。補正の主なものは歳入で普通徴収保険料209万4,000円の増。歳出で後期高齢者医療広域連合納付金162万3,000円の増である。	原案可決 (全会一致)
令和元年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ165万2,000円を減額し、総額2,682万2,000円とするもの。補正の主なものは歳入で増設移転工事負担金119万8,000円の減。歳出で施設管理費165万2,000円の減である。	原案可決 (全会一致)
令和元年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ4,051万8,000円を増額し、総額をそれぞれ1億5,547万6,000円とするもの。補正の主なものは並里・金武地区農業集落排水事業に係る工事請負費の増である。	原案可決 (全会一致)
金武町税条例の一部を改正する条例について 地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行規則の改正に伴い、金武町税条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町立公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 平成30年度から進めていた屋嘉区根屋前広場への遊具整備が令和元年度に完了したことに伴い、町立公園として追加するため金武町立公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
金武町公の施設の指定管理の指定について(屋嘉児童公園) 指定管理者:屋嘉区 指定期間:令和2年4月1日~令和8年3月31日	原案可決 (全会一致)
金武町公の施設の指定管理の指定について(金武町パークゴルフ場) 指定管理者:並里区 指定期間:令和2年4月1日~令和8年3月31日	原案可決 (全会一致)
金武町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について 地域の経済社会・雇用を支える存在として重要な役割を担っている中小企業者等の振興を組織的・継続的に支援し、町経済の健全な発展及び町民生活の向上を目的に制定するもの。	原案可決 (賛成多数)
令和元年度金武町一般会計補正予算(第5号) 伊芸地区農業集落排水機能強化対策事業における処理施設の改築工事に伴い、外構工事を予定していたが、工事工程において不測の期間を要したことから、年度内での完了が困難なため、翌年度へ繰越するもの。	原案可決 (全会一致)
教育委員の任命について 金城健氏を教育委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (全会一致)
金武町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙 任 期:令和2年5月15日~令和6年5月14日 委 員:本村成男氏、仲間初美氏、仲間正己氏、比嘉良順氏 補充員:①宮城健英氏、②伊波朝光氏、③前田和男氏、④仲間功氏 (番号は委員に欠員が生じた際の補充順)	当 選
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)



令和2年度 一般会計予算 100億3,342万6,000円



令和2年 第3回(4月)臨時会

令和2年第3回臨時会が4月7日(火)に招集され、1日間の会期で開催された。
臨時議会では、専決処分の承認と「北部地域基幹病院整備に関する意見書・要望決議」を審議し、採決の結果可決となった。
議決結果は下記のとおり。

令和2年 第3回(4月)臨時会 議決結果一覧

件 名	議決結果
専決処分の承認について(金武町税条例等の一部を改正する条例) 地方税法の一部を改正する法律等が令和2年3月31日に公布されたことに伴い、金武町税条例の一部を改正し、令和2年4月1日から施行する必要があるため、同条例の改正について議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
専決処分の承認について(金武町固定資産評価審査委員会の一部を改正する条例) 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、金武町固定資産評価審査委員会条例で引用する同法の法律名、及び条項の整備を行う必要があるため、同条例の改正については議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
専決処分の承認について(金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) 地方税法施行令の一部を改正する政令が令和2年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されることに伴い、国民健康保険税の課税限度額の引き上げ、国民健康保険税の均等割り及び平等割額を減額するための算定基準等に変更が生じた。それに伴い、金武町国民健康保険税条例の一部を改正し、令和2年4月1日から施行する必要があることから、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
北部地域基幹病院整備に関する意見書 ※詳細は20ページ	可決 (賛成多数)
北部地域基幹病院整備に関する要望決議 ※詳細は20ページ	可決 (賛成多数)

北部地域基幹病院整備に関する意見書・要望決議

北部地域では、医療体制や機能の縮小が進み、住民の不安が続く中、沖縄県に対し平成29年3月に、沖縄県立北部病院と北部地区医師会病院の統合・再編による「北部地域における基幹病院の整備を求める」112, 277筆の署名と要請書を沖縄県知事へ手交した。

その後、平成29年12月に沖縄県知事から、県立北部病院と北部地区医師会病院の統合による基幹病院の整備を行うとの方針が示され、平成30年1月から沖縄県保健医療部と沖縄県病院事業局及び北部病院、北部地区医師会、北部地区医師会病院、北部12市町村との間でこれまでに6回にわたる協議や意見交換を重ね「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書（案）」が作成された。

また、北部市町村議会議長会をはじめ北部12市町村議会における全員協議会等において、基幹病院整備に向けて基本的枠組みの説明が行われ、理解を深めてきた。

医療体制の確保は、住民の命を守る根幹をなすもので、本地域の医療が逼迫する中、県立北部病院と北部地区医師会病院の統合は一刻の猶予もゆるされず、沖縄県、北部12市町村が一体となって、基幹病院を整備しなければならない。

については、地域住民に寄り添った基幹病院の整備に向けて、下記事項について取り組むことを強く求める。

記

- 一 北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書を早急に締結すること。
- 一 北部基幹病院の設置主体は、県及び北部12市町村で設置する一部事務組合とすること。
- 一 設置された基幹病院の運営主体は、県及び北部12市町村等で設立する一般財団法人等とすること。
- 一 基幹病院の整備及び運営に関する費用は、北部12市町村の一般財源に影響を与えない方法で行うこと。
- 一 合意書の締結後、整備協議会を設置し基本的な枠組みの詳細及び整備に関する事項について協議を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和2年4月7日
沖縄県金武町議会

宛先 沖縄県知事
(要望決議宛先) 沖縄県議会議長

令和2年 第4回(5月)臨時会

令和2年第4回臨時会が5月12日(火)に招集され、1日間の会期で開催された。
臨時会では、新型コロナウイルス対策に係る特別定額給付金、水道料金・下水道料金を3カ月間免除にするための補正予算等を採決の結果可決となった。
議決結果は下記のとおり。

令和2年 第4回(5月)臨時会 議決結果一覧

件 名	議決結果
専決処分の承認について(金武町税条例等の一部を改正する条例) 地方税法等の一部を改正する法律等が、令和2年4月30日に公布、施行されたことに伴い、金武町税条例の一部を改正し、令和2年4月30日から施行する必要性が生じ、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
令和元2年度金武町一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ12億8,859万3,000円を増額し、総額113億2,201万9,000円とするもの。補正の主なものは歳入で総務費国庫補助金11億6,707万5,000円の増、財政調整基金繰入金9,932万6,000円の増。歳出で特別定額給付金事業11億6,707万5,000円の増、水道総務費3,293万1,000円の増、商工振興費3,684万7,000円の増である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 新型コロナウイルス対策費、水道総務費等へ9,932万6,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和2年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出の増減なしとし、補正の内容は新型コロナウイルス感染症対策に係る下水道使用料の減と他会計繰入金の増である。	原案可決 (全会一致)
令和2年度金武町水道事業会計補正予算(第1号) 歳入歳出の増減なしとし、補正の内容は収益的収入における新型コロナウイルス感染症対策に係る給水収益の減と他会計補助金の増である。	原案可決 (全会一致)
金武町国民健康保険条例の一部を改正する条例について 金武町国民健康保険に加入し、事業所から給与の支払いを受けている被用者に対して新型コロナウイルス感染症に感染又は感染が疑われる症状が現れたことにより療養し、労務に服することができず給与の支払いを受けることができない場合に生活が困窮することを防ぐため、傷病手当金を支給することができるよう改正するもの。	原案可決 (全会一致)
令和2年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ193万8,000円を増額し、総額17億7,944万7,000円とするもの。補正の主なものは歳入で保険給付費等交付金193万8,000円の増。歳出で傷病手当金193万8,000円の増である。	原案可決 (全会一致)
金武町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙 3月定例会で委員に当選した方の任期開始前の死去に伴い委員と補充員の追するもの。 委 員:宮城健英氏 補充員:喜納利子氏(補充順4番)	当 選

町村議会議員・事務局職員研修

2月20日(木)、南風原町立中央公民館で沖縄県町村議会議長会主催の町村議会議員・事務局職員研修が開催された。研修会では沖縄県企画部市町村課の高江洲昌幸課長が市町村行財政等の状況を説明した。これまで自治体では多様化する行財政需要に対応するため臨時・非常勤職員が増加しているが、本来の任用制度の趣旨に沿わない運用がみられることから適正な任用を確保するため、令和2年度から始まる会計年度任用職員制度についての説明があった。会計年度任用職員の勤務時間、給与の決定にあたっては財政上の制約のみを理由として、合理的な理由なく短い勤務時間を設定したり、期末手当を支給する一方で毎月の報酬を抑制することは、法改正の趣旨に沿わないことが紹介された。

また、富士通総研経済研究所の生田孝史主席研究員が「SDGsが変える社会と経済」と題して講演した。「SDGs」とは2015年9月の国連総会で採択された貧困や飢餓、エネルギー、気候変動など17分野の持続可能な開発目標のこと。生田主任研究員は、「様々な団体や企業がSDGsに取り組んでいるが、一時的な取り組みに終わらないために目的の明確化、組織体制の整備、取り組みの成果を評価して改善することが重要である」と話した。



行財政等の講演をする高江洲昌幸課長



SDGsを説明する生田孝史主席研究員

6月定例会のご案内

6月定例会は、6月16日(火)開会を予定しております。

日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。

詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

金武町議会事務局 有線電話：8-2292

NTT：098-968-2292

QRコードをスマートフォンで読み取ると議会中継サイトに繋がります。



金武町ホームページからも繋がります。